

大槌発

派遣・応援職員への感謝会



ふるさとの復興を支えてくれる人たちへ「ありがとう」の気持ちを伝えようと、大槌町で地元中学生が町に派遣されている職員に感謝

する会を開きました。大槌町は役場職員241人のうち114人が全国の自治体や企業からの派遣職員です。感謝の会は、今も仮設校舎で学校生活を送る大槌中学校生徒会が企画。「ありがとう」と書かれた色紙をプレゼントし、大槌中学校3年でプロの音楽活動を続けている臼澤みさきさんが歌で感謝の気持ちを届けました。(12/13 ニュースエコー)



宮古発

大熊手奉納

宮古市魚菜市場に、西の市で知られる浅草の長国寺から日本一の大きさの熊手が奉納され、お披露目されました。大熊手は畳6畳分の大きさで、「おかめ」の面を中心に商売繁盛の縁起物が飾られています。震災以降「鎮魂」と「復興」の祈りをこめ毎年、長国寺から贈られる大熊手はこれで3つめ、市民はにぎわいと活気がみなぎる新たな年にと願っていました。(12/15 ニュース)



釜石発

新店舗オープン

大震災の津波で全壊し、仮設店舗で営業していた東北銀行釜石支店が、鉄骨2階建ての新築店舗で業務を開始しました。新店舗は津波の被害を受けた市の中心部にあり、土地を40センチかさ上げし、屋上には緊急避難スペース、発電機も設置されました。また店舗内には、震災で発生した廃木材を再生した「復興合板」が使われています。千葉善幸支店長は「復興のシンボルの役割を果たしながら、地域の復興のステップ台になれば」と話しています。(12/16 ニュースエコー)



陸前高田発

「灯り」プレゼント



「灯り」で被災地を励ます支援活動を行っている九州の大学生が、陸前高田の子ども達に山車灯籠「ねぶた」をプレゼントしました。陸前高田市米

崎保育園を訪れたのは福岡市にある九州産業大学の学生12人です。今年は、学生たちが手造りした「クリスマスツリー」と「松ぼっくり」2台のねぶたを園児に披露し、灯りが点されると歓声が沸き起こっていました。学生たちは米崎保育園のほか、市内の高齢者施設や学童クラブなど5か所に「灯り」のプレゼントを届ける予定です。(12/17 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、宮古の冬の味覚「鮭」の漁獲量などについて伝えてくれました。11月末現在の漁獲量は51トンド、前年と比べると約2倍となっています。昨年は不漁でしたが、今年は鮭漁当初から昨年を上回り、震災前の漁獲量に戻りつつあります。冬が本格化し、新巻きにされた鮭が軒下に吊るされている光景も宮古の冬の風物詩です。宮古市では毎年子どもたちによる稚魚の放流が行われ、鮭が大きくなって故郷に戻ってくることを楽しみにしています。市民にとって鮭は昔から今も変わらず大切にされている魚の一つ。鮭漁は2月一杯まで続きますが、平年を上回る漁獲量が期待されます。(12/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122